



2018年3月期決算資料

STOCK CODE : 9436

業績

増収増益

✓ 過去最高益を更新 (6期連続増収増益)

- 営業収益651億76百万円 (前期比 3.4%増)
- 営業利益124億49百万円 (前期比 6.4%増)

配当 増配

✓ 17期連続増配を予定 (配当性向37.0%)

- 一株当たりの期末配当金を62円に上方修正
- 通期配当金117円 (前期比 11.4%増)

各事業の状況

モバイル

✓ 総契約数が前期比25,800増(3.9%増)

- 2018年3月末契約数：682,000契約

FTTH

✓ 回線数が前期比8,400増(10.7%増)

- 2018年3月末回線数：86,500回線

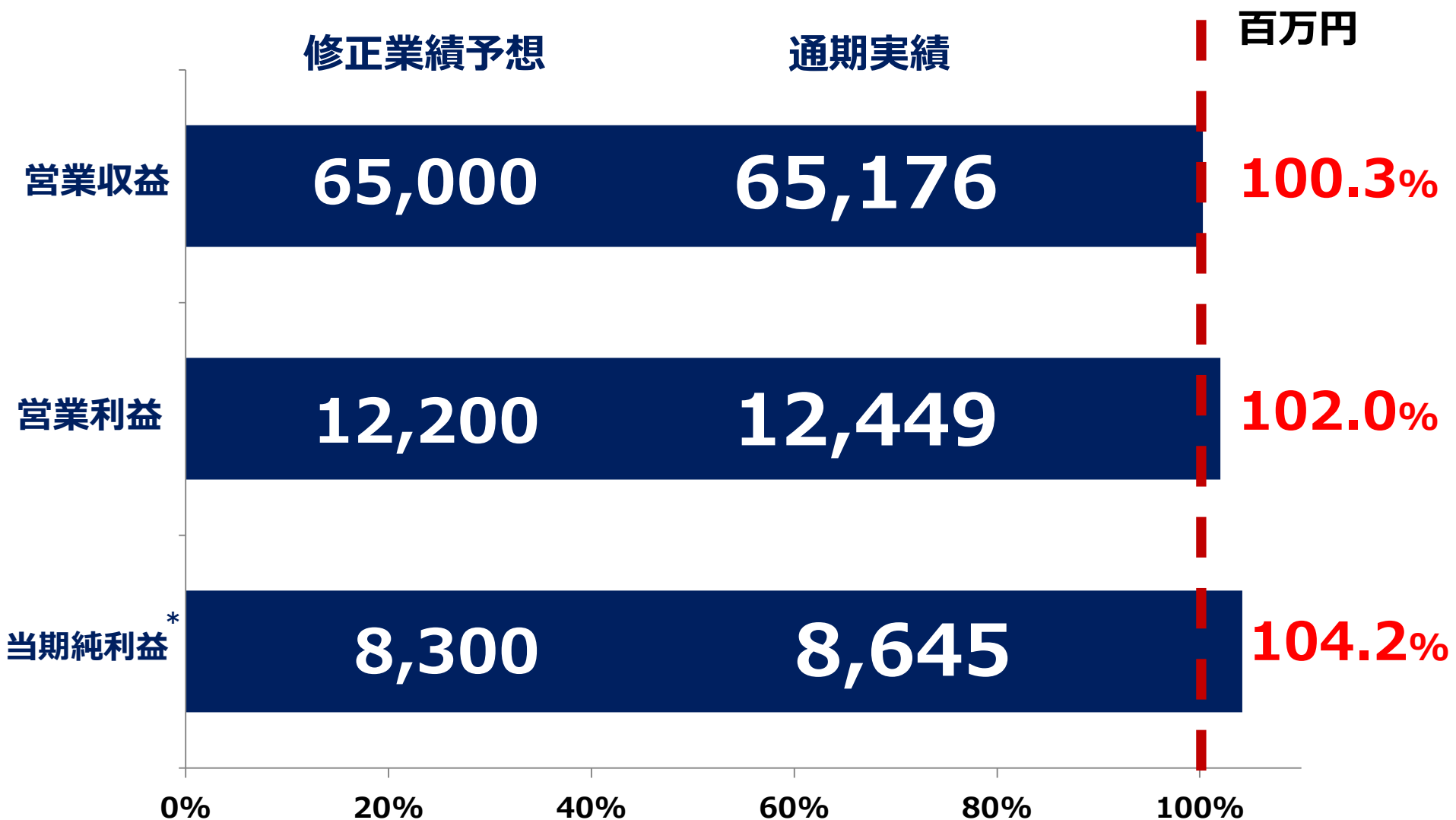
2018年3月期業績（連結）①

(百万円)

連結	17.3期 通期 (A)	18.3期 通期 (B)	増減 (C=B-A)	増減率 (C/A)
営業収益	63,017	65,176	+2,159	+3.4%
営業費用	51,313	52,727	+1,414	+2.8%
営業利益	11,703	12,449	+745	+6.4%
(Margin)	(18.6%)	(19.1%)	(+0.5P)	-
経常利益	11,753	12,511	+758	+6.4%
当期純利益*	7,999	8,645	+646	+8.1%

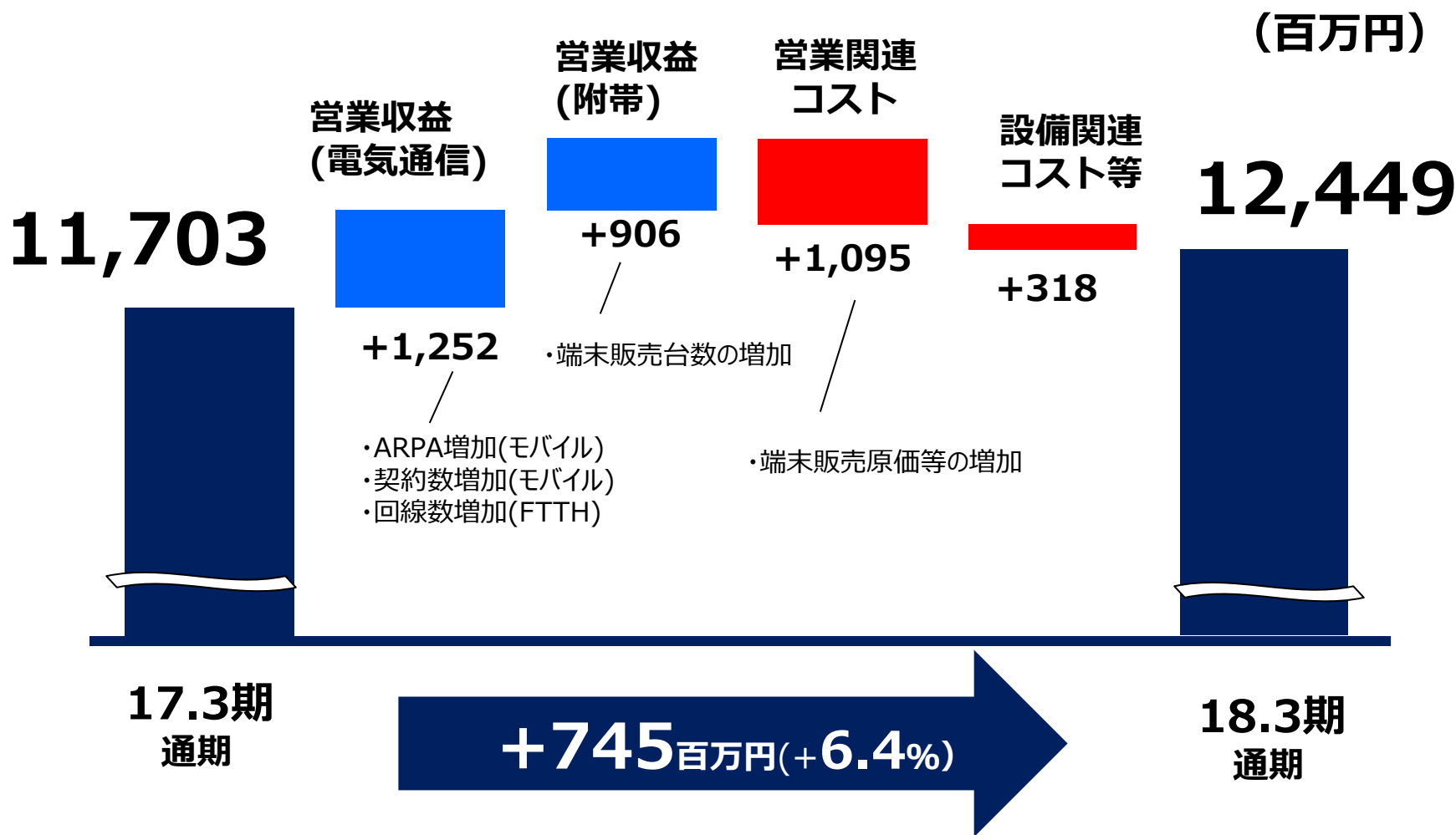
*親会社株主に帰属する当期純利益

修正通期業績予想に対する進捗



営業利益の増減要因

営業収益(電気通信事業)の増加により増益を確保



2018年3月期業績（連結）②

単位：百万円

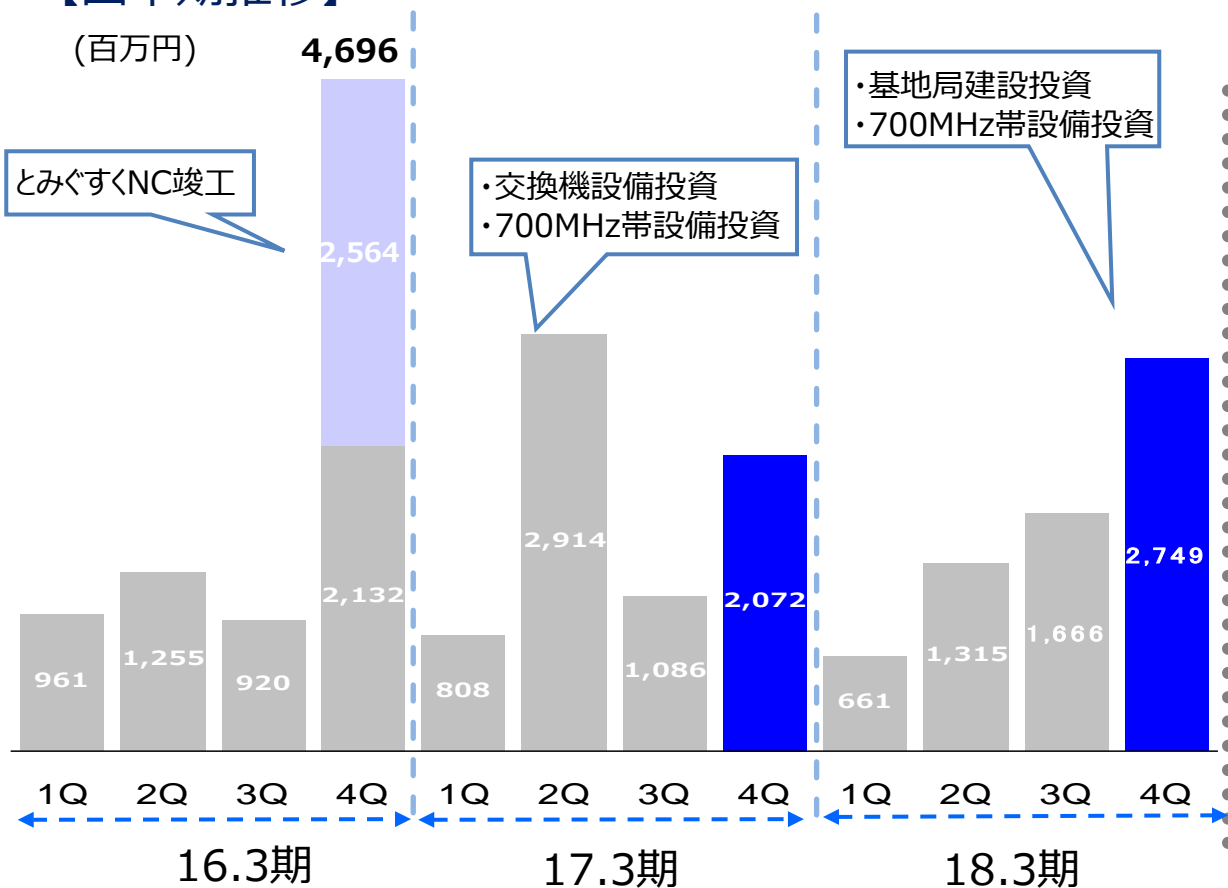
連結	17.3期 通期 (A)	18.3期 通期 (B)	増減 (C=B-A)	増減率 (C/A)
フリーキャッシュフロー	2,976	3,859	+882	+29.6%
(関係会社への 貸付増減額を除く)	(8,572)	(6,562)	(▲ 2,010)	-
EBITDA	18,199	19,092	+893	+4.9%
(Margin)	(28.9%)	(29.3%)	(+0.4P)	-
設備投資	6,882	6,392	▲489	▲7.1%

2018年3月期設備投資の状況

コスト削減を進め、効率的な設備投資を実現

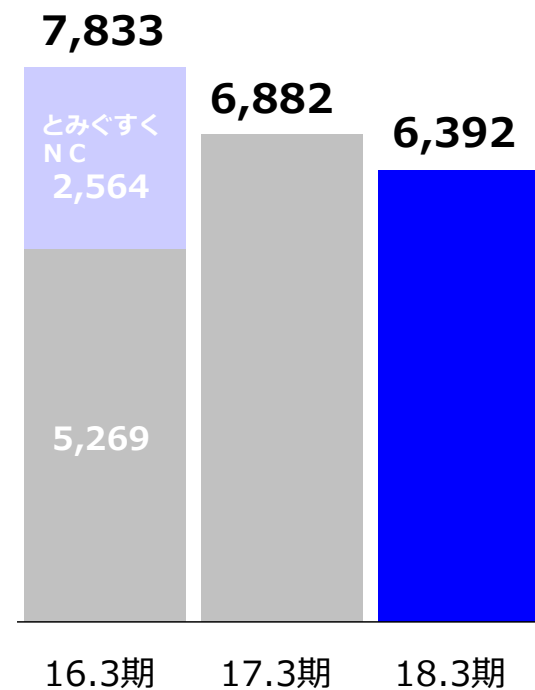
【四半期推移】

(百万円)



【通期推移】

(百万円)



モバイル



2018年3月期サービスデータ

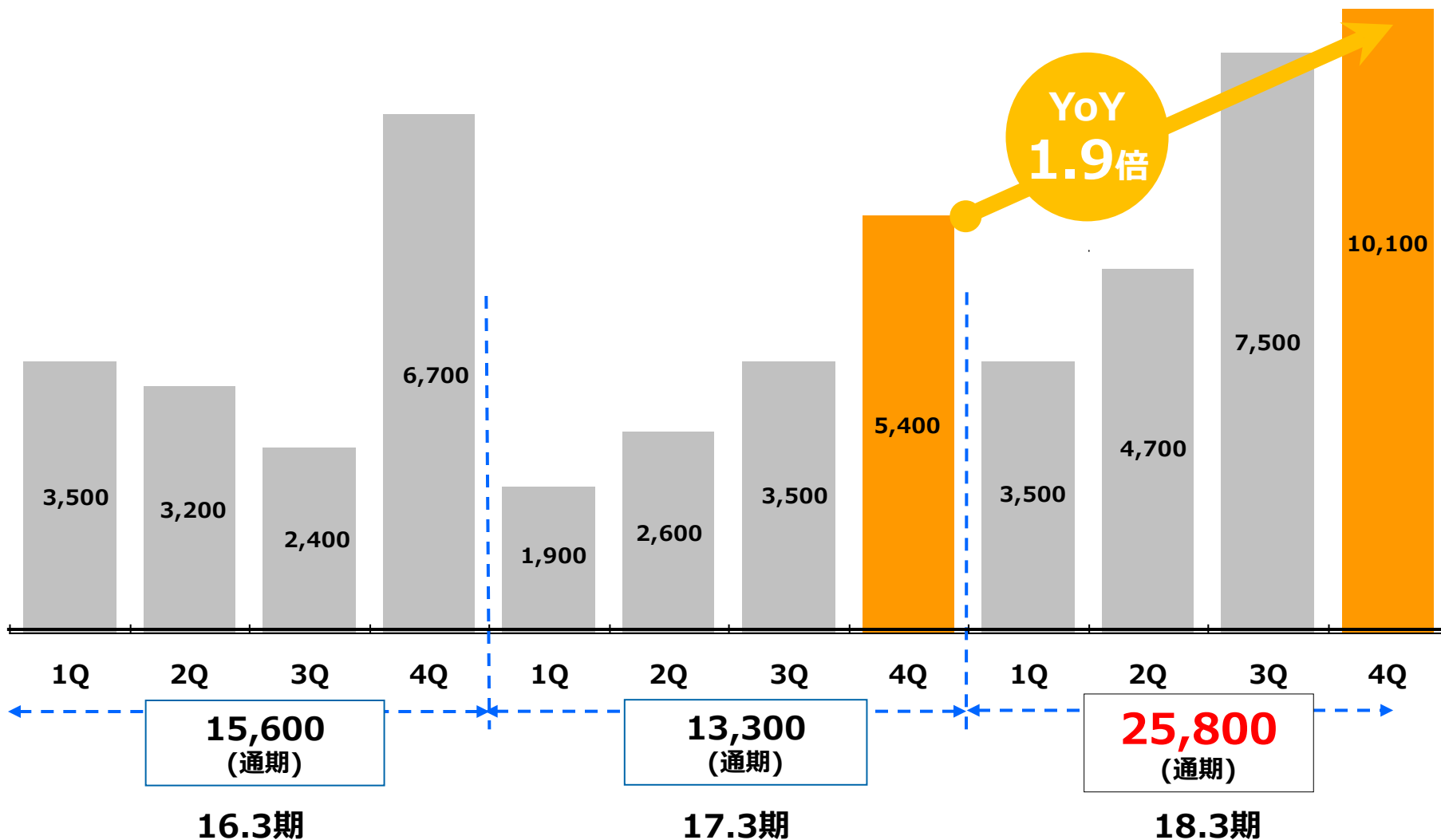
モバイル

	17.3期 通期 (A)	18.3期 通期 (B)	増減 (C=B-A)	増減率 (C/A)
純増数	13,300	25,800	+12,500	+93.8%
総契約数	656,200	682,000	+25,800	+3.9%
携帯電話総販売数	226,800	241,900	+15,100	+6.6%
総合ARPA (円) *	6,564	6,715	+151	+2.3%
内 au通信ARPA*	6,263	6,380	+117	+1.9%
内 付加価値ARPA*	301	335	+34	+11.3%

*MVNOおよびプリペイドを除く

純増数の推移

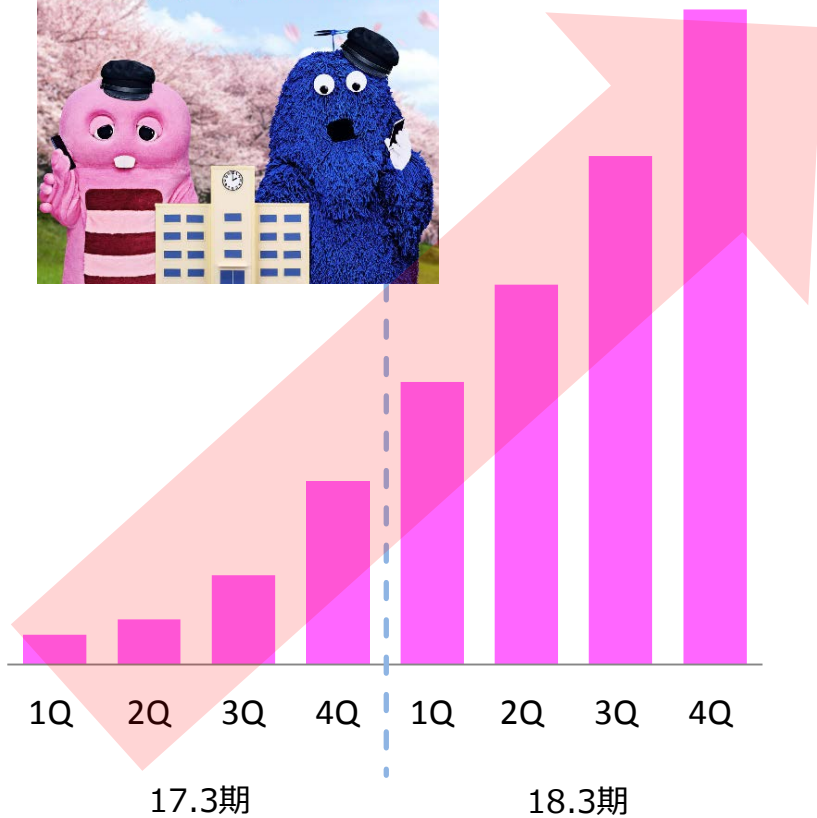
UQモバイルが好調に推移し、4QはYoY1.9倍の10,100と大幅増
通期では、前期実績を上回る25,800を獲得



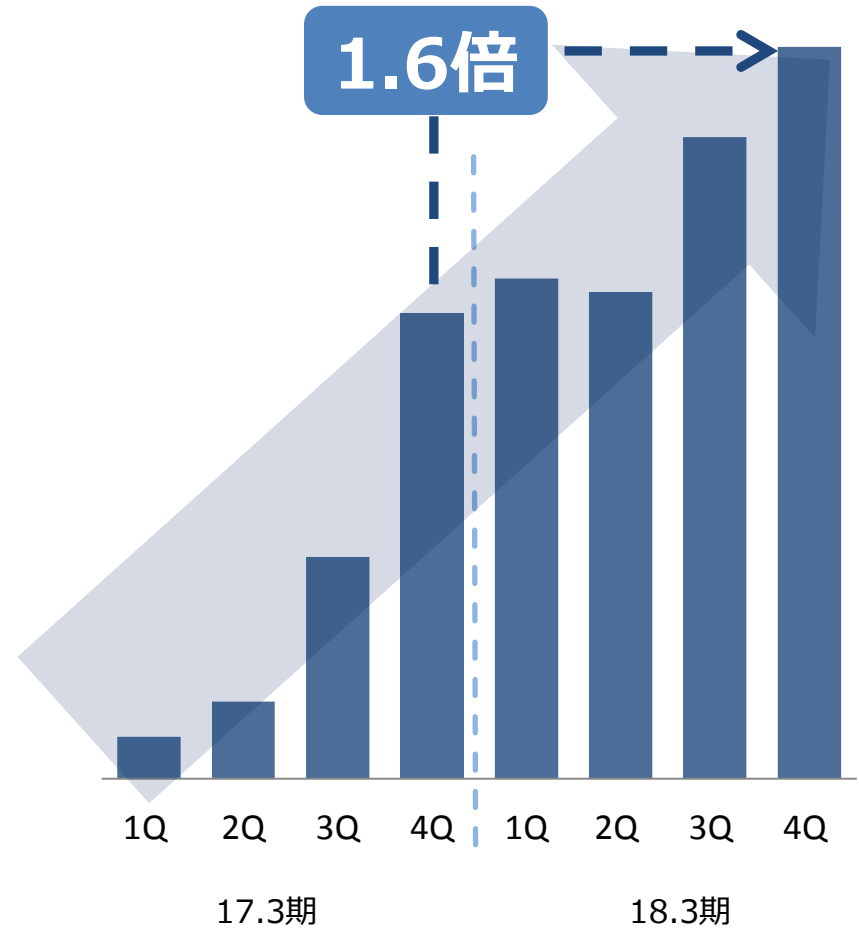
UQモバイル沖縄の状況

累計稼働数は順調に伸長、4Q純増数は過去最高を達成

累計稼働数の推移



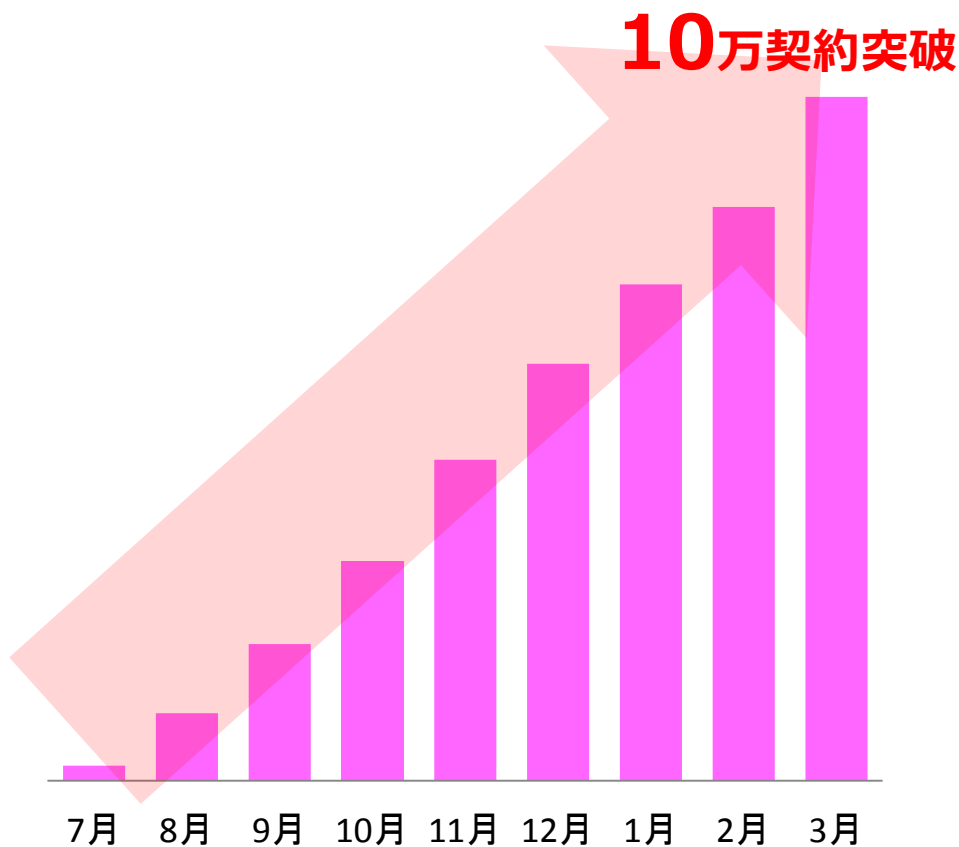
純増数



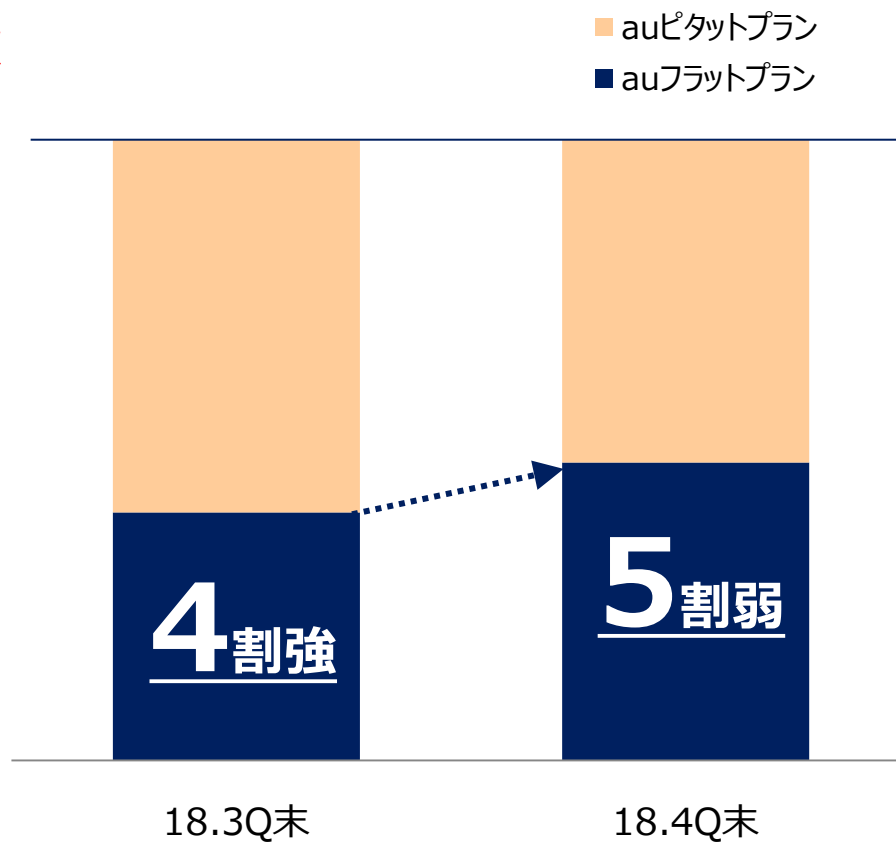
au新料金プラン (auピタットプラン/auフラットプラン)

新料金プラン契約者数は10万契約を突破
5割弱のお客様が大容量プラン(auフラットプラン)をご利用

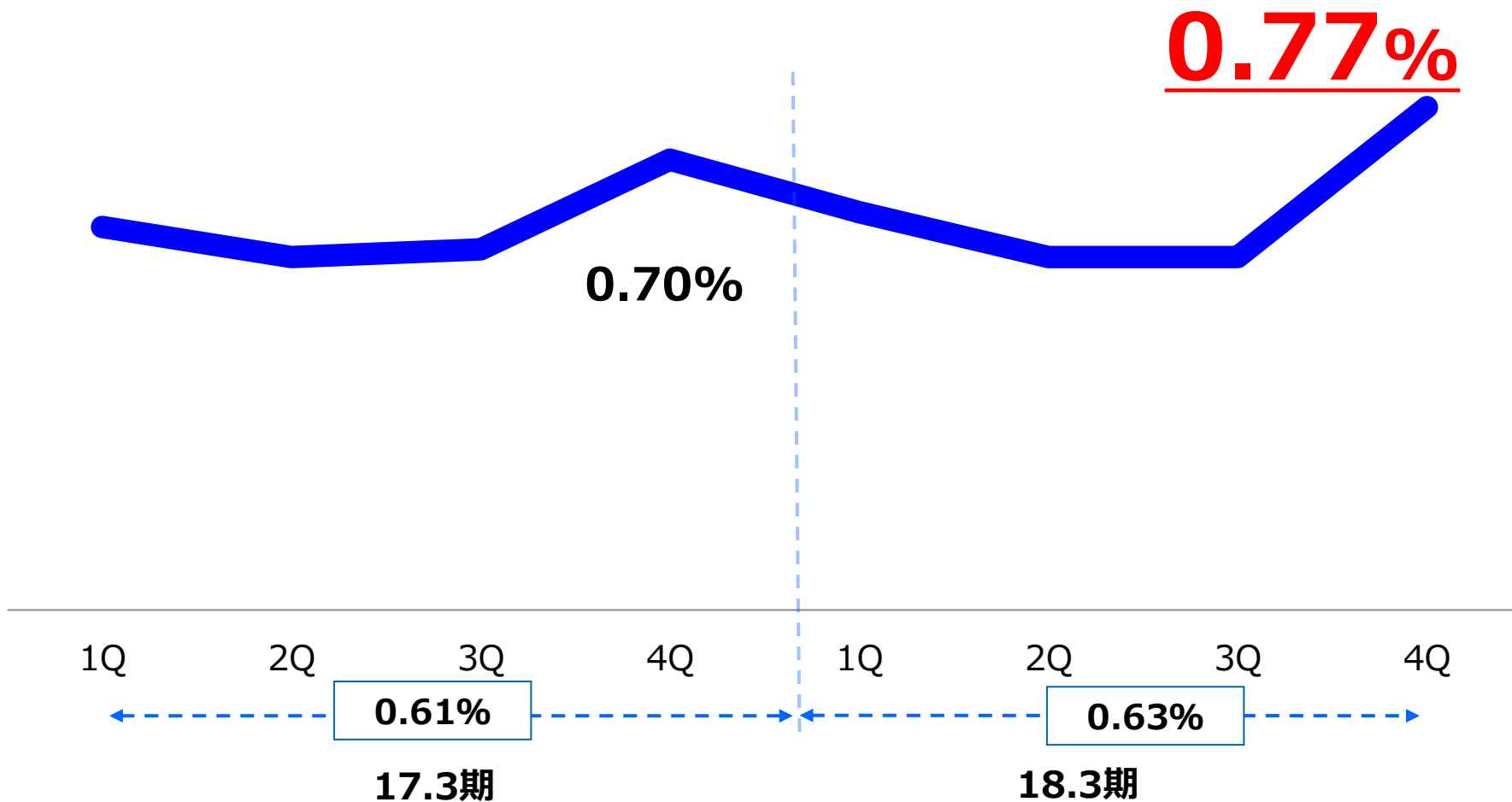
■ 新料金プラン契約者数



■ 新料金プラン比率

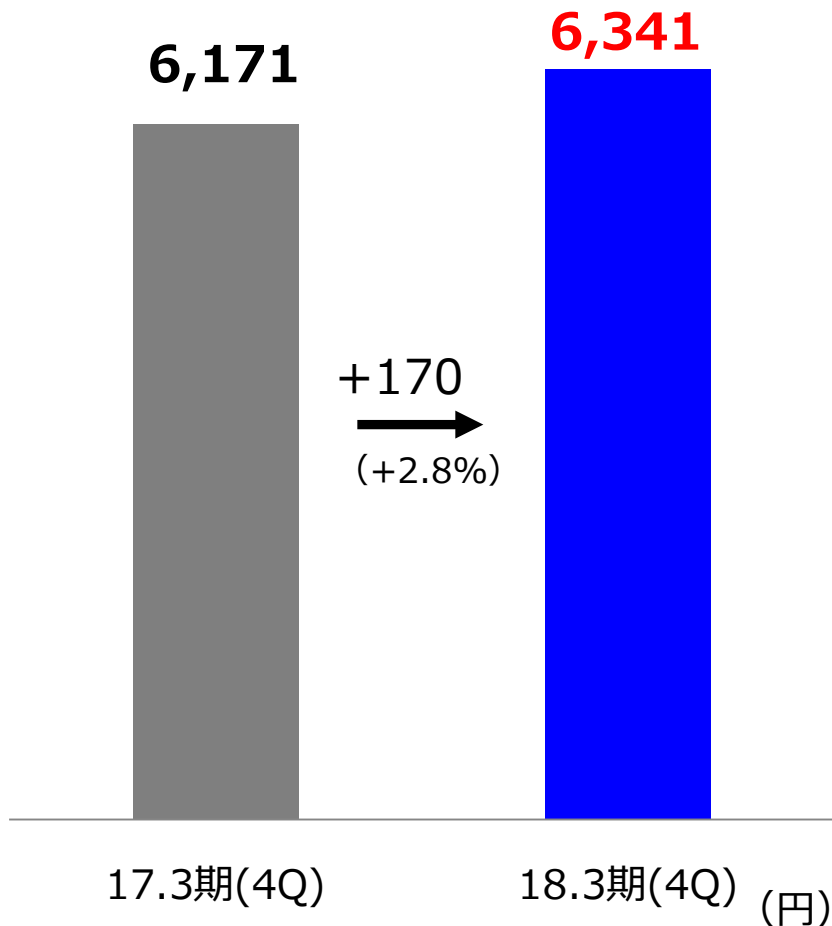


4Q解約率は上昇したものの、通期ではほぼ横ばい

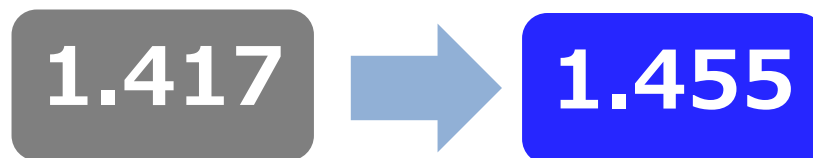


au通信ARPAの状況

au通信ARPAは前期比+170円（2.8%増）

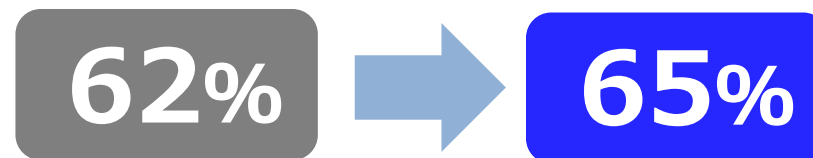


■ 1人当たりモバイルデバイス数



注1)

■ スマートフォン浸透率



注2)

17.3期末

18.3期末

FTTH

auひかり ちゅら

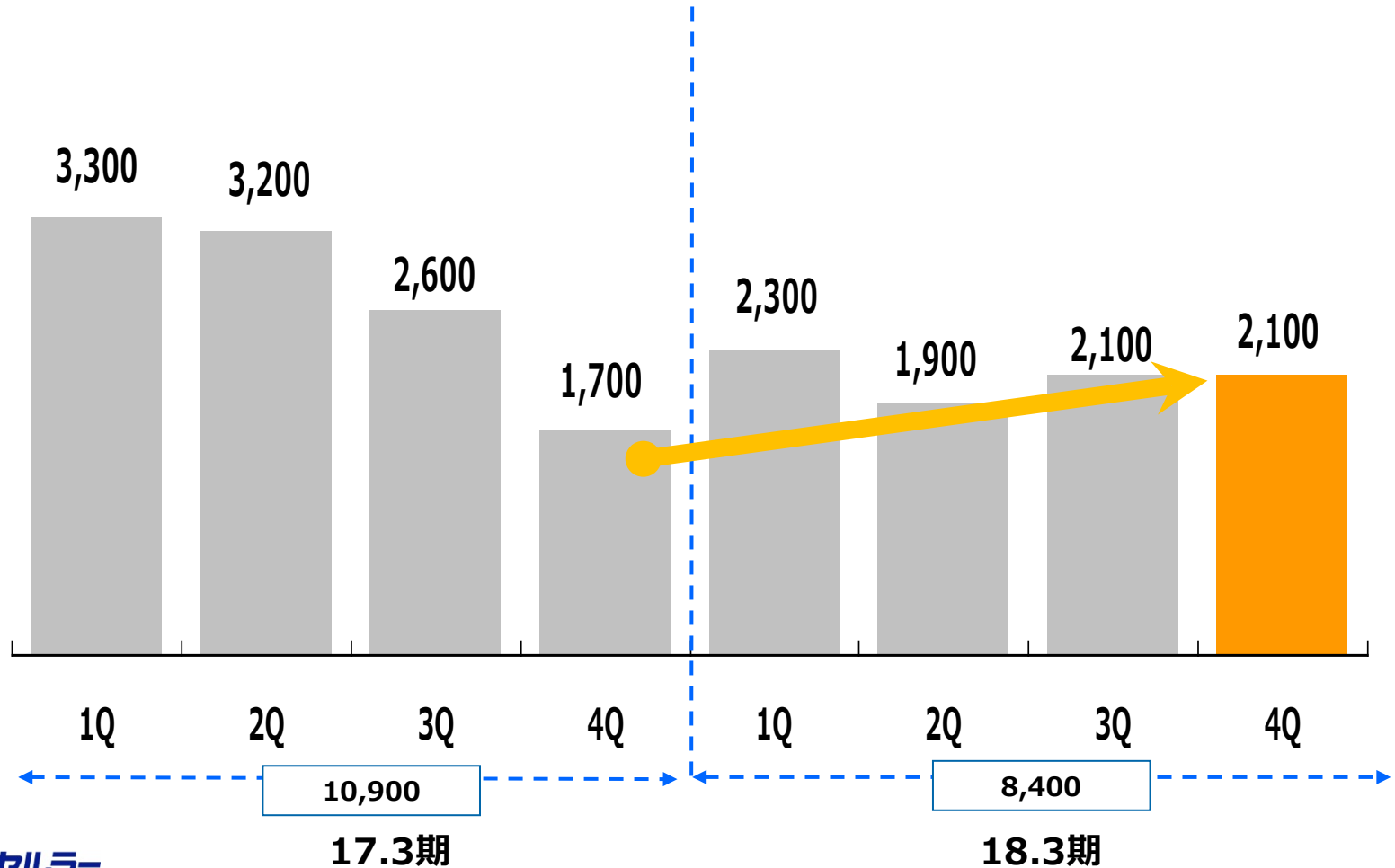
ひかりゆいまーる

2018年3月期サービスデータ

FTTH	17.3期 通期 (A)	18.3期 通期 (B)	増減 (C=B-A)	増減率 (C/A)
純増回線数	10,900	8,400	▲2,500	▲22.7%
内 auひかりちゅら	10,500	8,000	▲2,500	▲23.8%
内 auひかりちゅらビジネス	100	200	+100	+29.5%
内 ひかりゆいまーる	200	200	+0	+0.6%
累計回線数	78,100	86,500	+8,400	+10.7%
内 auひかりちゅら	76,700	84,700	+8,000	+10.5%
内 auひかりちゅらビジネス	1,100	1,300	+200	+16.4%
内 ひかりゆいまーる	300	500	+200	+51.8%
ARPU (円) ※	5,004	5,022	+18	+0.4%

FTTH純増回線数の推移

4Q純増数は前期を上回り、年間純増数は8,400を確保





J.D.POWER 顧客満足度

No.1

au

auひかり ちゅら

2017年 日本携帯電話サービス

2018年 日本固定ブロードバンド
回線サービス沖縄エリア

出典：J.D.パワー-2016-2017年日本携帯電話サービス顧客満足度調査。2017年調査は日本国内在住の携帯電話利用者計31,200名からの回答による。
J.D.パワー-2018年日本固定ブロードバンド回線サービス顧客満足度調査沖縄エリアの固定ブロードバンドインターネット回線（FTTHもしくはCATV）を
家庭で利用している550名から回答を得た結果 japan.jdpower.co

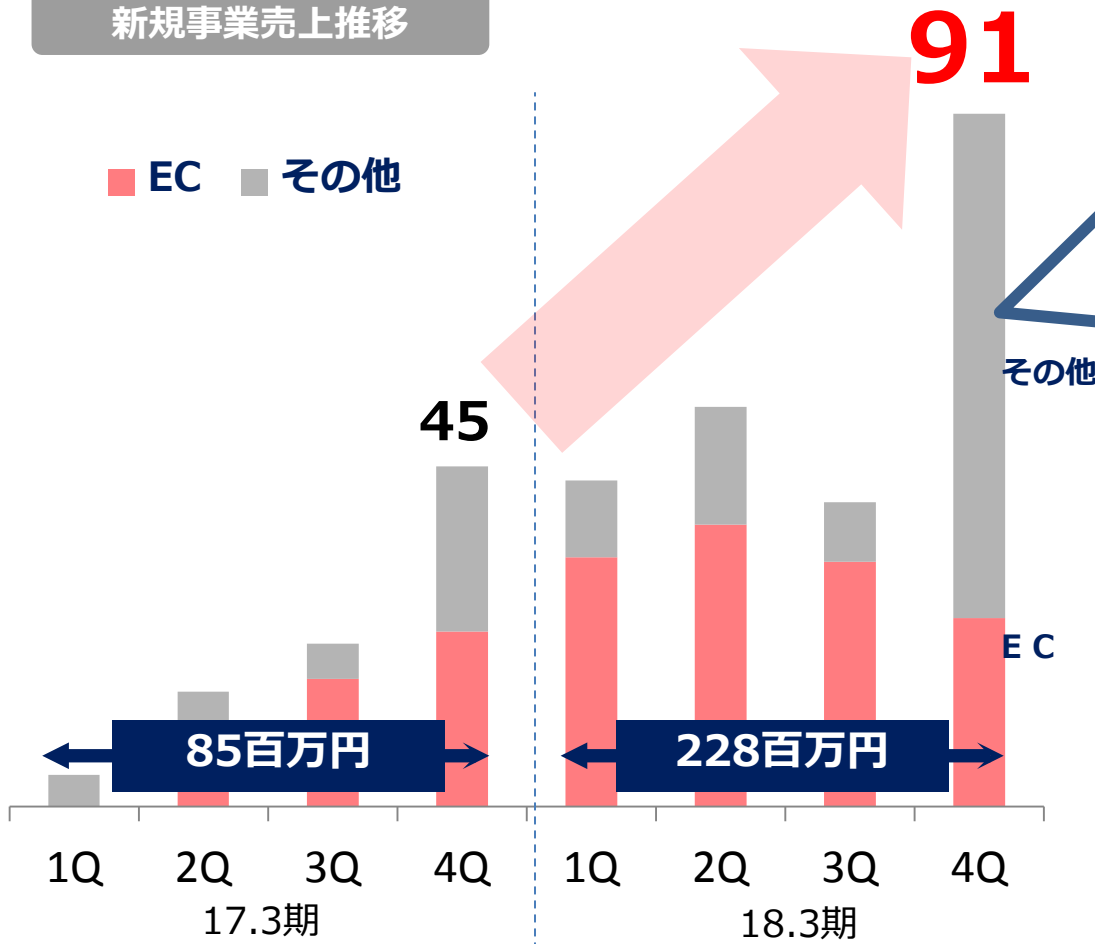
その他のご報告

新規事業

4Qは初のプラント販売により、前期比2倍の91百万円
通期売上も前期比2.7倍の228百万円となる

単位：百万円

新規事業売上推移



優良資産を活用した事業領域拡大（データセンター/オフィスビル）

IoT、ICTを活用する企業が集積する拠点となり
沖縄から本土や世界に発信するビルを目指す

■ 新ビル外観イメージ



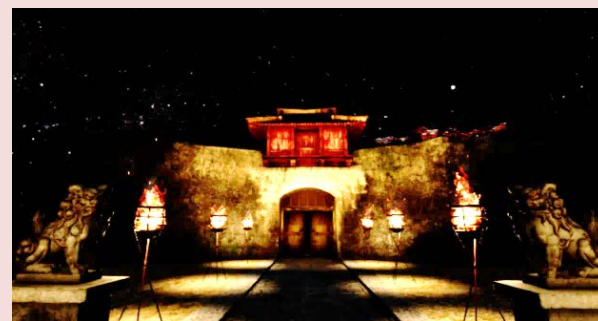
■ 新ビル建築予定地（那覇市東町）



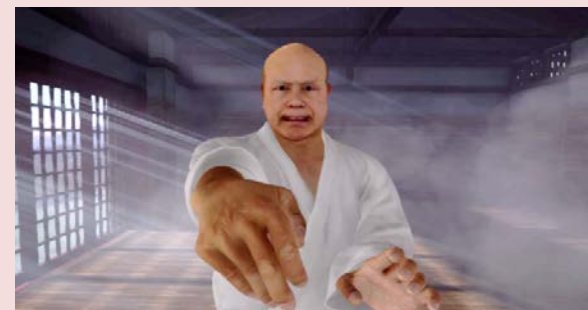
沖縄空手の型を未来へ継承するため、VR技術を用いてデジタルアーカイブ化
世界に誇る沖縄传统文化の振興に貢献

■ 体験イメージ

空手を沖縄传统文化として意識させる演出により
壮麗な雰囲気の世界観で沖縄空手の力強さを表現



手指や足先の細かな動作や高速な突きも表現



「ICTを活用したマンゴーの安定生産と栽培促進の取組み」が
総務省主催「ICT地域活性化大賞」において奨励賞を受賞

■ 授賞式の様子



■ LEDマンゴープロジェクト



LED補光システム

LPWAを活用したLED補光システムを駆使することによりマンゴーの育成促進や品質向上を目指す

CSR活動を通して地元へ貢献
「こども基金」、「離島ケータイ奨学金」を継続実施

■ こども基金



2期目 11団体へ累計450万円を寄付

■ 離島ケータイ奨学金



4期目 延べ134名の生徒を支援

業績予想

2019年3月期通期業績予想（連結）①

単位：百万円

連結	18.3期 通期 (A)	19.3期 通期 (B)	増減 (C=B-A)	増減率 (C/A)
営業収益	65,176	65,500	+324	+0.5%
営業費用	52,727	53,000	+273	+0.5%
営業利益	12,449	12,500	+51	+0.4%
(Margin)	(19.1%)	(19.1%)	(±0.0P)	-
経常利益	12,511	12,550	+39	+0.3%
当期純利益*	8,645	8,700	+55	+0.6%

*親会社株主に帰属する当期純利益

2019年3月期通期業績予想（連結）②

単位：百万円

連結	18.3期 通期 (A)	19.3期 通期 (B)	増減 (C=B-A)	増減率 (C/A)
フリーキャッシュフロー	3,859	3,200	▲659	▲17.1%
（関係会社への 貸付増減額を除く）	(6,562)	(4,200)	(▲ 2,362)	-
EBITDA	19,092	19,400	+308	+1.6%
（Margin）	(29.3%)	(29.6%)	(+0.3P)	-
設備投資	6,392	6,800	+408	+6.4%

2019年3月期 サービスデータ予想

モバイル	18.3期 通期 (A)	19.3期 通期 (B)	増減 (C=B-A)	増減率 (C/A)
純増数	25,800	18,000	▲7,800	▲30.2%
総契約数	682,000	700,000	+18,000	+2.6%
携帯電話 総販売数	241,900	227,000	▲14,900	▲6.2%
au通信ARPA*	6,380	6,300	▲80	▲1.3%

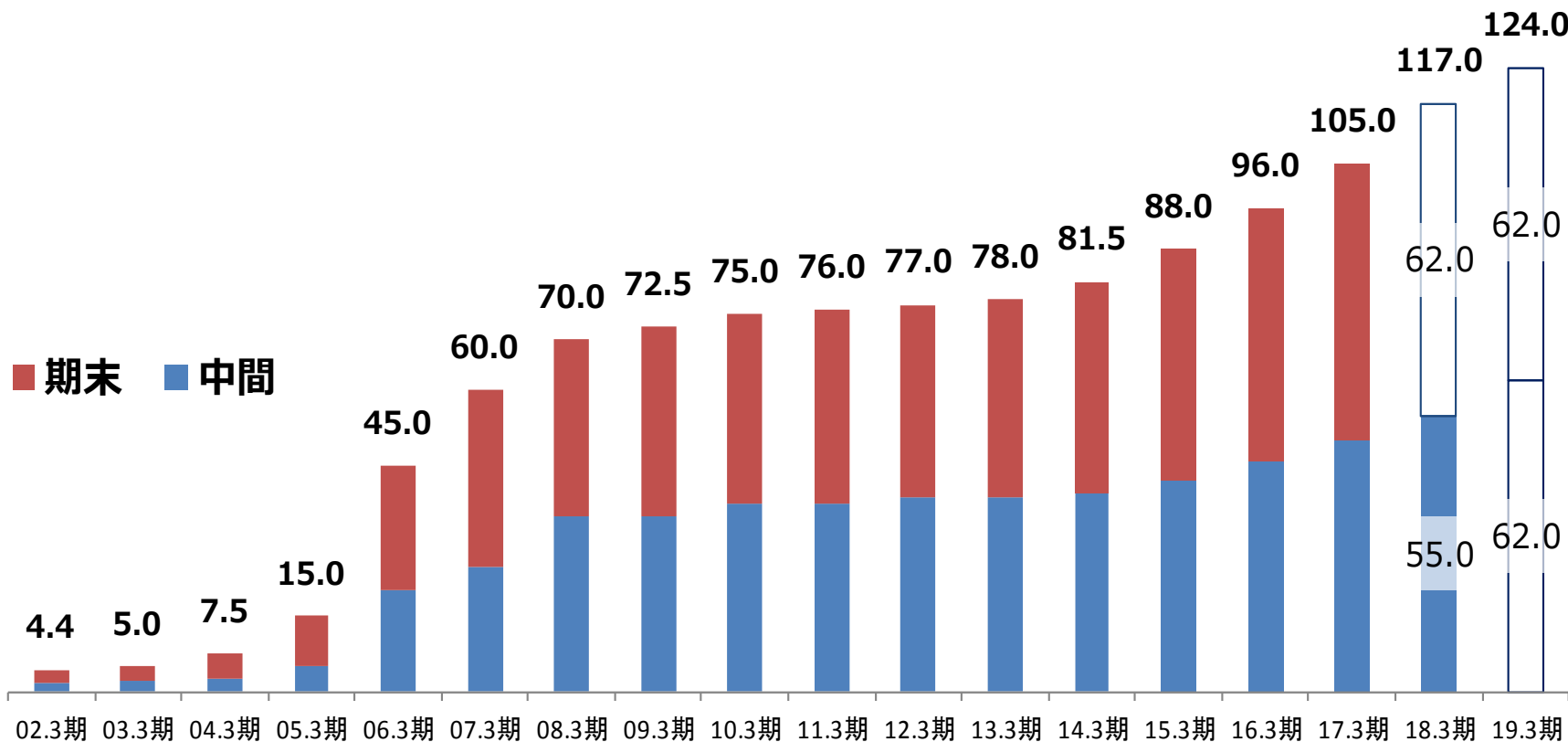
FTTH	18.3期 通期 (A)	19.3期 通期 (B)	増減 (C=B-A)	増減率 (C/A)
純増回線数	8,400	7,500	▲900	▲10.7%
累計回線数	86,500	94,000	+7,500	+8.7%

*MVNOおよびプリペイドを除く。

一株当たりの配当金の状況

18.3期は、期末配当予想を55円から62円へ上方修正（配当性向37.0%）

19.3期は、通期配当124円で18期連続の増配を予想（配当性向39.0%）



※ 2004年11月、2005年9月に株式2分割を実施（配当据え置き）しております。

※ 2012年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき100株の割合で株式分割しております。

※ 1株当たりの配当金は13年3月期の期末配当金を100として、これまでに実施した株式分割等に伴う希薄化を調整して表示しております。

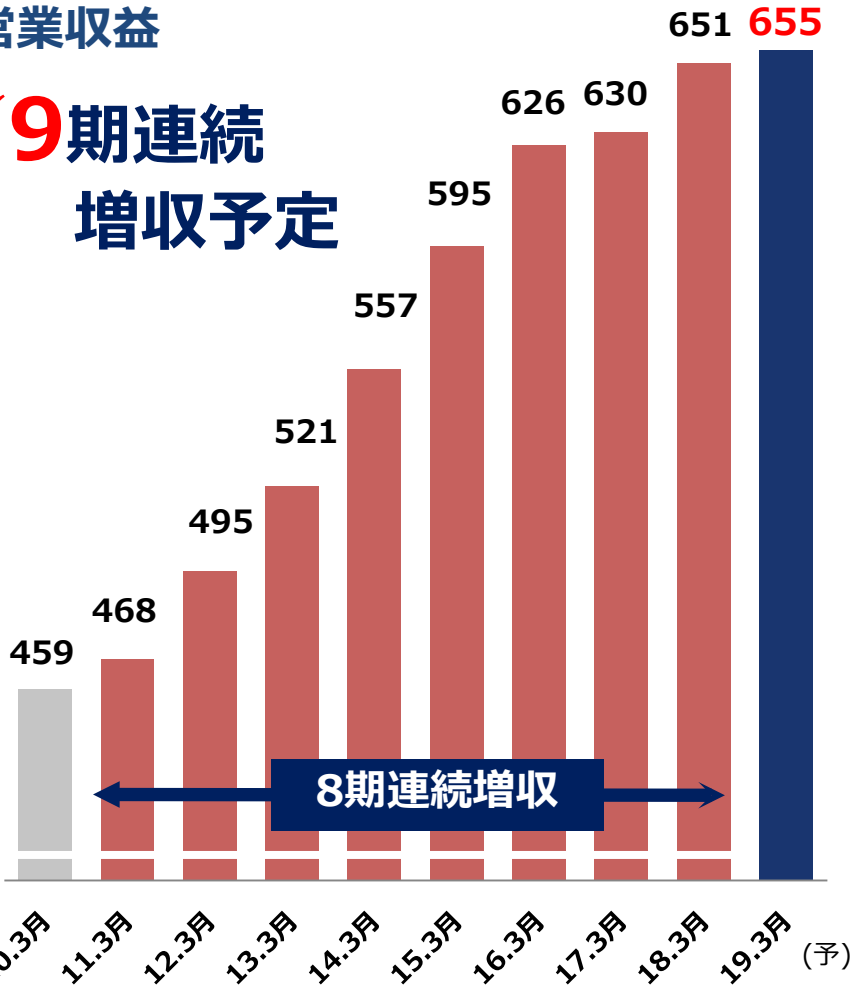
(予)

19年3月期業績予想を含めると**7期連続の増収増益**を予定

(億円)

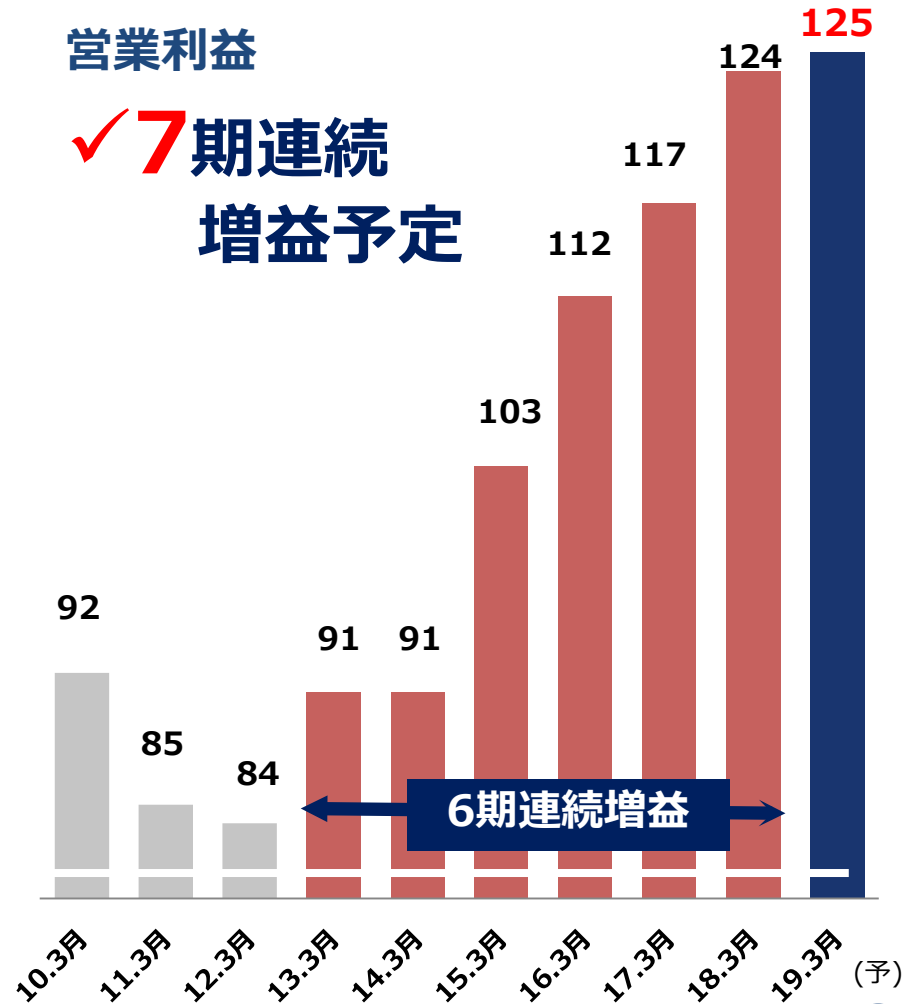
営業収益

✓ **9期連続**
増収予定



営業利益

✓ **7期連続**
増益予定



3増(増収、増益、連続増配)が当社の経営目標

増収 ・ **増益** ・ **連続増配**



経営
目標

3増 (サンゾウ)

参考：業績の推移

(百万円)

	13.3月期	14.3月期	15.3月期	16.3月期	17.3月期	18.3月期
営業収益	52,177	55,759	59,585	62,656	63,017	65,176
電気通信事業	35,717	39,149	41,807	43,456	43,924	45,177
附帯事業	16,459	16,610	17,778	19,200	19,092	19,999
営業利益	9,130	9,159	10,331	11,212	11,703	12,449
(営業利益率：%)	(17.5%)	(16.4%)	(17.3%)	(17.9%)	(18.6%)	(19.1%)
設備投資（竣工ベース）	8,036	11,487	7,268	7,833	6,882	6,392
フリーキャッシュフロー	3,219	3,030	2,495	3,183	2,976	3,859
(関係会社への貸付金増減額を除く)	(▲178)	(1,623)	(6,301)	(6,878)	(8,572)	(6,562)
有利子負債残高	1,543	1,500	1,159	743	459	481



お問い合わせ先
沖縄セルラー電話株式会社
経営管理部 IR・経営戦略グループ
T E L : 098-951-0639
E-mail : oct-ir@au-mobile.com

●この配布資料に記載されている業績予想及び契約数予想等はいずれも、当社が現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済環境、競争状況、新サービスの成否などの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績及び契約数は、この配布資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

●本資料の一切の権利は当社に属しており、方法・目的を問わず、無断で複製・転載を行わないようお願い申し上げます。